

## 2011年3月期 第1四半期 決算カンファレンスコールでの主な質疑応答内容

(2010年7月29日実施)

### 【第2四半期の見通し】

Q：第2四半期の見通しについて。

部品事業、機器事業、それぞれの第1四半期から第2四半期にかけて売上高及び利益の見通しを教えてください。

A：・「部品事業」は本年9月まで第1四半期の状況がそのまま続くと考えています。第2四半期は、少なくとも第1四半期の売上高及び利益の水準を維持できると考えています。

・特に好調なのは半導体部品関連事業です。SMDやCCD/CMOSイメージセンサー用パッケージは好調であり、この状況が第2四半期も続くと予想しています。

・また、ファインセラミック部品関連事業についても、第1四半期の受注状況を見ると、半導体製造装置関連や自動車関連の売上高及び利益が、第1四半期よりも伸びると考えています。

・電子デバイス関連事業については、スマートフォンや液晶テレビの売れ行きが好調であり、部品が不足している状況です。第2四半期もそのような状況が続く見通しです。

・「機器事業」については、通信機器関連事業において携帯電話端末の製品サイクルの影響が第2四半期に現れると考えています。第2四半期はモデルの端境期により、第1四半期に比べて減収減益になる見通しです。

・情報機器関連事業は、ほぼ第1四半期並みの出荷台数、売上高及び利益を見込んでいますが、欧州の売上比率が高いため、ユーロ安の影響が懸念されます。

### 【半導体部品関連事業】

Q：第1四半期の設備投資の状況を教えてください。

A：・生産能力を上げていますが、それでも製品によっては供給が追いつかない状況が続いています。

・今期は半導体部品関連事業において前期末比1.5倍の能力増強を行う予定です。引き続き日本と中国で能力増強を行います。

### 【ソーラーエネルギー事業】

Q：2010年3月期第4四半期と比較した第1四半期のソーラーエネルギー事業の状況を教えてください。

A：・前期第4四半期に比べて減収減益となりました。

・減収の要因は、国内事業において、政府からの補助金の支給手続の遅れにより受注がず

れ込んだことに加え、第4四半期は3月にかけて予算の関係上、公共向けの受注が伸びますが、第1四半期にはそのような受注が減少したためです。

- ・欧州はフィード・イン・タリフ（電力買取制度）の減額前の駆け込み需要により、引き続き好調でありましたが、国内の減収分を補うには至りませんでした。
- ・減収とユーロ安のインパクトが大きかったことに加え、第4四半期に比べて製品価格が平均で5%ほど下落（現地通貨ベース）したことにより、減益となりました。
- ・なお、国内の補助金の支給手続の遅れは現在解消しており、受注のずれ込みは第2四半期に現れる見通しです。

Q：7月のドイツでのフィード・イン・タリフ（FIT）の減額の影響について教えてください。

A：7月のFIT減額率が当社の想定よりも低かったため影響は想定内であり、計画通り事業を進めることができる見通しです。

#### 【電子デバイス関連事業】

Q：電子デバイス関連事業は前期第4四半期に比べて売上高が大きく伸びていますが、事業別の増収率と利益率の変化について教えてください。

- A：・前期第4四半期比で増収率が大きい順番は、薄膜、セラミックコンデンサ、水晶となっており、コネクタは横ばいでした。
- ・利益改善が最も進んだのはセラミックコンデンサです。京セラの電子部品が黒字に転換しました。

#### 【通信機器関連事業】

Q：売上高の内訳を教えてください。

- A：・第1四半期の売上高の大半が携帯電話端末事業です。携帯電話端末の売上は、金額ベースで国内が60%、海外が40%という内訳です。利益は国内外共に黒字です。
- ・海外の携帯電話端末事業は、前期の固定費の削減（インドのソフトウェア会社の売却や構造改革など）に加え、新製品が計画通り出てきていることなどにより、黒字化することができました。

Q：スマートフォンの投入について教えてください。

A：北米市場へのスマートフォンは今月出荷し、売上貢献は第2四半期からになります。

Q：2011年3月期の投入モデル数を教えてください。

A：今後投入予定の製品については現在開発中であり、通信キャリアとの関係もあるため、具体的な投入モデル数は開示していません。当期下期の投入モデル数は前年同期と同水準を予定しています。

Q：通信機器関連事業は第1四半期で既に年間利益予想に近い利益を上げているため、もう少し楽観的になっても良いのではないのでしょうか。

A：通信機器関連事業も含めて、第3四半期以降どういう状況になるか、現在見極めているところです。あと2ヶ月ぐらいで下期の見通しが出てくるため、もう少し正確な情報をもって、業績予想を見直したいと考えていることから、今回、業績予想の変更は行っていません。

以上